



丘の上だより

P.1~2 聖書 詩篇 23 篇より
P.2~3 治療中の日記より
P.4 チャペルコンサート
11月3日のお知らせ

「主は私の羊飼い」

牧師 野村^{たかみち}天路

詩篇 23 篇は、イスラエルの王であったダビデという人が神を賛美するために作った歌です。この詩篇には、神に信頼し、神とともに生きるダビデの姿が表されています。この詩篇の言葉から、心から神に信頼する者の幸いを見ていきましょう。

主は私の羊飼い。私は乏しいことがありません。 (詩篇 23 篇 1 節)

ダビデは、「主は私の羊飼い」と言っていて、神である主を羊飼いになぞらえています。羊飼いは、羊を外敵から守り、養い、導きます。ダビデは、イスラエルの王になる以前は、羊飼いでし

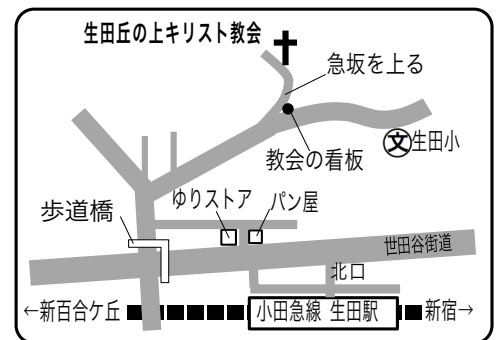
た。ですから、ダビデは、自分の経験から、羊飼いがどのような存在であるのかをよく知っていました。その上で、神である主が自分の羊飼いのようなお方であって、羊飼いのように、自分を守り、養い、導いてくださると告白しているのです。

まことの神が私の羊飼いであって、私を守り、養い、導いてくださるということは、なんとという幸いであり、祝福でしょうか。「私は乏しいことがありません」という言葉が続いていますが、まさにそのとおりです。神が私の羊飼いでいてくださるということは、神が私のあらゆる必要を満たしてくださるので、それゆえに、乏しいことはないのです。

主は私を緑の牧場に伏させ いこいのみぎわに伴われます。 (2 節)

さらにダビデは、神である主が自身自身に必要な草や水が豊かにある場所に導いてくださるお方であると告白しています。ダビデは、最終的にはイスラエルの王となり豊かな繁栄を手に入れましたが、そこに辿り着くまで様々な試練や困難も経験しました。ダビデは、そのような自分の人生の旅路に神である主が常に伴ってくださり、導いてくださったと告白しているのです。

私たちの人生の旅路も様々な試練や困難があり、荒地をいくようなものかもしれません。心からの満足や喜びや平安を見出すことはそんなに多くはないと思います。人間関係もいつも順風満帆とはいかず、殺伐とすることさえあるでしょう。そのような人生の旅路において、神である主が私たちに寄り添い、伴ってくださって、私たちを豊かな緑と水へと導いてくださるのです。



生田駅から徒歩8分

<前ページからの続き>

主は私のたましいを生き返らせ 御名のゆえに 私を義の道に導かれます。(3節)

焼けつく太陽のもとで荒地を歩き続け、ようやく水と豊かな緑に辿り着いたときには、生き返るような思いがすることでしょう。それと同じように、ダビデは、神である主こそが私のたましい(霊的ないのち)を生かして下さるお方であると告白しています。

私たち人間が生き生きと生きることができるのは、私たちが造られたまことの神との関係に生きるときです。すべてのものを作られた神がおられ、私自身も神によって作られたものであることを受け止め、神とともに生きるときに、私たちは、自分の存在の意味を確信して生きることができます。

聖書を通して、まことの神である主を知っていくとき、私たちは、ダビデと同じように主を知っていくことができます。まことの神である主が私の羊飼いであって、私の必要を満たし、導いてくださるといふ幸いを知ることができるのです。どうぞ、教会にお越しください。私たちを養い、導いてくださるまことの神を求めていきましょう。



聖書の語る福音を信じ、それに生きようとするキリスト者が普段の生活の中で体験する神の恵みについて語ることを、教会では「証し」という呼び方をすることがあります。

これは教会員のMさん(79歳男性)が日記に書いた証しです。

治療中の日記より

2021年9月頃、肺炎で1カ月ほど治療していた時。

なぜ肺炎になったのだろうと点滴を受けながらいろいろ考える。「神の御怒りですか」「試練を与えられているのですか」「あるいは特別な訓練ですか」と自分で勝手に考える。「何もできない高齢者は迷惑をかけてはいけないよ」と思ったり、熱と咳と痰と倦怠感で何もできなで「今日も迷惑かけますよ」と心で叫んだりしていた。院内では看護婦さんたちが忙しそうに慌ただしく走り回っている。コロナ禍で余計大変そうだ。顔見知りになったせいか働く人たちへの感謝のせいか、待ち時間が長くなっても「自分の番は後回しでもいいよ」と心で伝える。こんな中でコロナに感染していないだけでもラッキー、何という奇跡かとも思い「いつまでも待ちますよ」と思いつつながらも何もできない存在に体が

小さくなる。

病院での待ち時間や点滴が終わるまでの時間を利用してスマホ版の聖書を開いた。

わがたましいよ 主をほめたたえよ。
主が良くしてくださったことを何一つわすれるな。

主は あなたのすべての咎を赦し
あなたのすべての病を癒やし
あなたのいのちを穴から贖われる。

主は あなたに恵みとあわれみの冠をかぶらせ
あなたの一生を 良いもので満ち足らせる。
あなたの若さは驚のように新しくなる。

旧約聖書・詩篇 103 篇 1~5 節

何もできない自分をクローズアップして自分にはもう何の価値も無いのだろうかと思っていた時に、この聖句に目が留まった。価値がないなんてことは絶対無いと気づかされる。神が創造主であれば私たちはその作品。神はご自分の作品を放って置くはずは

定期集会

礼拝は毎週日曜日に行われています。
皆様のお出でを心からお待ちしています。

礼拝・日曜日 11:00~12:10

教会学校・日曜日 10:00~10:40

祈祷会・水曜日 19:30~21:00

クリスマス礼拝

12月24日(日)

10:30~11:40

今年は夜のクリスマスイブ礼拝は行いません。

ないし、今も癒やしてくれているんだと、この聖句は言っているではないか。「自分はじっと回復するのを待っていればいいんだ」との思いと力が湧いて来る時間だった。聖書のみ言葉によって支えられ、神のあわれみと恵みの約束をまた聖書からいただいた。

治療中には信仰の友と牧師には自分の体調をできるだけ細かに伝えた。それは状況をより深く知ってもらいたいのと、本人しか分からない痛み辛さを、何か一つでも受けとめて、主に祈ってくださると信じているからだ。私たちの神は、友のためのとりなしの祈りに耳を傾ける方だと聞いている。これは私たち信仰者の特権だと改めて思う。み言葉に、そしてとりなしの祈りに支えられ、回復が与えられた。ハレルヤ！*

* ハレルヤはヘブライ語で「主をほめたえよ」という意味。キリスト者が神の恵みを強く感じた時に、感謝や賛美を表す言葉として使われることがある。

2023年1月に定期検診で早期胃癌が見つかり、手術あとにやっと病院食を与えられた時。

重湯(おもゆ)が胃の傷の表面を流れていく感触に、この汁が傷を癒し、腸に至ってもやさしく働いて欲しいと願う。胃だけでなく他の臓器もお互い旨いかと呼びかけ合って励まし合っている感覚を覚える。

多くの消化管が、一つ一つ自分の役目を担っていることで一つの体が動いていると、改めてその複雑さと、この体を作られた方に思いを寄せた。一つの臓器が傷むと他の臓器は黙っては見ていない。改めて神が備えてくださった体の仕組み、構造、総合作用に驚かされる。緊急指令が身体中を駆け巡り、他の臓器のために自分を犠牲にしても助けを送ってくれているかのようだ。私たち一人一人はキリストのからだの一部であると言われていることを思い出す。聖書では次のように語られている。

一つのからだには多くの器官があり、し

かも、すべての器官が同じ働きをしてはいないように、大勢いる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、一人ひとは互いに器官なのです。

新約聖書・ローマ人への手紙 12章 4～5節

つまりからだの器官はどれ一つとっても必要のない器官はなく、他の器官の重荷を喜んで負い合い、回復と健全な成長に結ばれていくと理解した。この思いは、教会の友との交わりの中にある気遣い、心の通い合いを通して支えられ傷ついた心が癒されていくという現実にも照らすことで、確かな事実だと改めて気づかされる。

今の自分の苦境を自分だけで何とかしようとしなくて良い。助け手がいるという確信に平安と励ましを受けます。この聖書のみ言葉の前後にも私たち人生の営みを導く多くの知恵が語られているので、私はそれから目を離せない。

1カ月後の検診で完治ですと担当医に告げられ、感謝してハレルヤと記した。



小学生対象

毎月第3土曜日

14:00～15:00

わかりやすい聖書のお話と賛美、アイロンビーズやプラ板を使った工作など、十分な感染対策のもと、楽しい企画を用意しています。

保護者の方もご一緒に見学していただけますので、お気軽にご参加ください。

LINEでキッズクラブの最新情報を受け取ることができます！

ぜひ友だち登録してご利用ください。



毎月第1・3火曜日 10:30～12:00

0才から未就園児とお母さんのための集いです。聖書のお話と賛美歌、おやつなど。

見学も大歓迎です。参加ご希望の方は、教会にお問い合わせください。

川崎市の子育て情報 Book「多摩区内の親子ひろば・子育てサロン」にも載っています。

チャペル コンサート

ヴァイオリン、ファゴット、ピアノによる 音楽のおくりもの

2023年11月3日(金)

14時開演 (13:30開場)

入場無料・予約不要・全席自由

感染症の再拡大など社会状況が急変した場合は座席を制限する場合があります。



会場

生田丘の上キリスト教会

今井 潤子 Junko Imai ファゴット

東京藝術大学音楽学部卒業。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。現在はオーケストラ、室内楽、ソロ等、多岐にわたって活動中。ユーオーディア管弦楽団ファゴット奏者。平山音楽院講師。桐朋学園大学嘱託演奏員。Trio Infinity メンバー。



池田 実結 Miyui Ikeda

ヴァイオリン

沖縄県出身。4歳よりヴァイオリンを始める。昭和音楽大学卒業。フリーランス奏者として全国各地でソロ・室内楽・オーケストラの公演に出演する他、レコーディングやMV出演、アーティストライブサポート、幅広く活動。また、全国各地でチャペルコンサートを行っている。



加賀 都喜乃 Tokino Kaga ピアノ

ロンドン英国王立音楽院、同大学院卒業。日本帰国後、東京オペラシティタケミツメモリアルにてユーオーディア管弦楽団と「チャイコフスキーピアノ協奏曲―第1楽章」(2019年)演奏。ソロ、室内楽などにて活動。クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパンピアノ講師。



私たちはユーオーディア・ミニストリーで出会った、ヴァイオリン、ファゴット、ピアノによるアンサンブルです。「ユーオーディア」は、ギリシャ語で最上の香りという意味で、聖書の中では「キリストの香り」という表現の時にだけ使われる言葉です。1988年にクラリネット奏者の柳瀬洋さんご夫妻を中心に、日本全国、世界へと広がった、日本のクリスチャン音楽家たちによる賛美と音楽宣教の活動です。約400名のメンバーがおり、ユーオーディア管弦楽団・合唱団をはじめ、様々な賛美のグループが生まれました。私たちは小さな者ですが、主が私たちの賛美を用いてくださると期待して、ユーオーディアの名前の由来でもある「音楽を通して、キリストの香りを届ける」というヴィジョンを受け継ぎ、その思いをこめて、日々賛美をしていきたいと心から願っています。